

学習指導の方針

学習指導部

目指す生徒の姿

- ・ 主体的・協動的に学習に取り組む生徒
- ・ 自ら考え、判断し、自分の意見や考えを伝えることができる生徒
- ・ 家庭学習に自主的・計画的に取り組む生徒

(1) 学習指導の方針

すべての生徒にとっての「分かる、できる授業」を実践し、学習に対する意欲を高め、自ら進んで学習に取り組む生徒を育成する。

(2) 指導の重点

- ① 授業UDと主体的・協働的で深い学び（AL）の実践により、意欲的・主体的に学習に取り組む態度と知識・技能を活用する力を育成し、学力の向上を図る。
- ② 基本的な学習規律を確立し、授業における生徒の集中力を高める。
- ③ 家庭学習の習慣化を図り、基礎・基本の確実な定着を促す。

(3) 主な実践事項

- ① 授業UDの具体的実践と「主体的・対話的で深い学び（AL）」の実践について
 - ア 全教科共通の取組
 - a 授業で繰り返し学習(復習問題)を行うとともに、習得内容を活用する場面を工夫する。
 - b 復習の仕方を指導し、学力に定着につながる家庭学習ができるよう、助言を行う。
 - c 単元終了後等に授業の自己評価をさせる。
 - d NRTの結果を分析し、学級や個に応じた指導ができるよう授業改善を行う。
 - イ 「分かる、できる」を基本とした授業の工夫
 - a 授業UDと主体的・対話的で深い学び（AL）を取り入れた授業を実施する。
 - ・ 「課題」に正対した「まとめ」の明示と、「振り返り」の実施
 - ・ 本時の学習過程の見通しや学び方等が分かる板書をする
 - ・ 理解の仕方や解決の方法が分かるノート指導の実施
 - b 目的を明確にした「かかわり合い、学び合い」を効果的に組み入れる。
 - ウ 生徒の意欲を引き出す評価
 - a 各教科における評価の内容を明確化し、各教科部で事前に評価計画を作る。
 - b 知識・理解を問う問題ばかりでなく、思考力・判断力・表現力など、観点別に評価できる問題を取り入れ、定期テストの問題づくりを工夫する。
 - c 対話的な学びを授業で積極的に取り入れ、習得した知識や技能を活用する場面を作る。
- ② 基本的な学習規律の確立について
 - ア 生徒の集中力を高める授業（学習規律）の確立
 - a 学習のきまり（「授業の基本」）をクラスに掲示し、学習への意識付けを図る。
 - b 学習係の役割をクラスの中でしっかりと位置付け、活動させる。
 - c 「聞く」・「話す」・「考える」・「書く」・「活動する」等の場面を明確に設定する。

授業の基本

- ・ 授業開始1分前に準備をすまして着席する。
- ・ 教師や仲間の話を目で聴く。
- ・ 積極的に発言したり、対話して教え合いをする。
- ・ 聞く、書く、考える、話す、活動する場のけじめをつける。
- ・ 授業の開始・終了のあいさつをきちんと行う。

③ 家庭学習の習慣化について

- ア 1年生は1日70分、2年生は1日80分、3年生は1日90分を目標にして取り組ませる。
- イ 「生活記録ノート」の学習計画の欄を用いて見通しをもった計画を立てさせるとともに、家庭学習の振り返りを継続して行わせる。
- ウ 各学年で家庭学習用の「自学ノート」の取組を行い、「復習」の習慣化に力を入れる。提出が滞る生徒に対しては個別指導を行う。また、2年生の後半からは受験に向けた課題にも合わせて取り組ませる。
- エ 個に応じた課題を与える等、課題の出し方を工夫する。
- オ 学習が進まない生徒に対しては、学年部と教科部が連携して、必要に応じて学習カウンセリングを行う。
- カ 各教科で自主学習について具体的な指導を行う。取り組んだものは提出させ、評価に加味する。
- キ 家庭学習時間調査を行い、結果を家庭にも知らせ、家庭での時間の使い方等について助言を行う。

(4) その他の主な実践事項

① キャリア教育との関連

各教科で、将来の生活や職業に関連する単元を明確化し、学ぶ意義や楽しさを伝えるよう工夫する。また、学び合い等を通して、コミュニケーション能力の向上に努める。

② 朝読書の実施

原則として、朝の活動として読書を行う。ただし、朝会等のある日、定期テスト等のある日（1週間前から）、テスト期間中は実施しなくてもよい。

③ Web配信集計システムの活用

- ア テストの実施は、国語・数学・英語の授業内で行う。
- イ 返却や解説は、教科の授業内で行う。
- ウ 過去の診断問題やサポート問題を授業改善に生かす。
- エ テストの結果は教科の評価資料に加える。
- オ 実施予定を年度当初に生徒に知らせ、事前・事後学習について各教科で指導する。
第1回の入力完了日が5月24日、第2回が8月16日（金）、第3回が1月17日（金）です。
年3回になります。その代わり、1教科A3サイズ1枚で50分かかります。

④ 定期テストへの取組

- ア 定期テスト2週間前から、家庭学習強調週間を設ける。
- イ 原則として、定期テスト7日前から諸活動休止、生徒の教務室への入室禁止とする。
- ウ 定期テスト実施前に、質問教室を実施する。
- エ 学習計画表を作成させ、家庭での時間の使い方を指導するとともに、テストまで見通しをもって、計画的に家庭学習が進められるようにする。
- オ 定期テストの結果は、家庭に知らせ、家庭学習の改善・充実を図る。

⑤ 長期休業中の学習教室の実施

- ア 夏季休業中と冬季休業中に学習教室を実施し、基礎・基本の定着を図る。
- イ 実施に関しては、教科部と学年部で連携して対応する。